

令和元年度日本語教育総合調査概要（案）

1 調査テーマ

大学における日本語教師養成課程の調査・研究

2 趣旨

日本語教師の養成機関の一つである大学（短期大学、大学院を含む）において、どの施設がどのような体制で日本語教師養成を行っているかを把握できていないため、全大学を対象とした網羅的実態調査と研究を行う。特に、養成課程の教員の実態と通信による日本語教師養成課程の実態に焦点を当てて、調査研究を行い、今後の大学の日本語教師養成課程の在り方の検討の一助とする。

また、調査結果から得られる情報から日本語教師養成課程を有する大学の情報を一覧として提供し、ホームページに掲載することで、日本語教育関係者や日本語教師を目指す学生等に情報を発信していく。

3 事業内容

(1) 大学における日本語教師養成課程の実態調査

① 全大学に照会をかけ、日本語教師養成課程の実施状況を調査する。

【調査項目】

- ・日本語教師養成課程の有無、名称
- ・日本語教師養成課程の必要単位数（45単位 or 26単位）
- ・「日本語教育人材の養成・研修の在り方について」（報告）への適応状況
- ・日本語教師養成課程受入れ定員・受入れ条件
- ・担当教員数
- ・担当教員の専攻領域・外国人に対する日本語教育歴
- ・担当教員の背景
（日本語教師養成課程や420単位時間コース受講歴、日本語教育能力検定試験等）
- ・連絡先（電話・FAX・メールアドレス）等

② ①の調査で日本語教師養成課程を有する大学のうち、通信制の日本語教師養成課程を運営する大学には以下の事項を加えて調査する。

【調査項目】

- ・受講期間
- ・科目
- ・受講方法（回答郵送法、eラーニングの別）
- ・スクーリングの有無
- ・教育実習の有無及び受講方法

(2) 実態調査の結果に基づく研究

(1) で得られた情報をもとに、下記の観点における現状の課題を分析・研究する。

- ・教員の背景・専門性の特徴
- ・通信制をとる日本語教師養成課程の在り方

(3) 大学における日本語教師養成課程の情報提供

(1) で得られた情報を一覧化し、ホームページに掲載する。なお、掲載情報は定期的に更新できるように運用を検討する。

以上